

(6) 2016年(平成28年) 8月4日(木曜日)

「岩の上に家を建てる」という有名なキリストの言葉が、マタイの福音書7章にあります。キリストは、「わたしのこれらの言葉を聞いて行う者は皆、岩の上に自分の家を建てた賢い人に似ている」と言われました。「わたしのこれらの言葉」というのは、この前に語られたキリストの山上の教えの全部を指します。山上の教えの中心は、「人間にとって本当の幸せとは何か」です。キリストが説かれた、人間が幸せになる道聞いて、実行する人は賢い。その賢さは、岩の上に自分の家を建てた人のようだという事です。では岩の上に自分の家を建てる人はなぜ賢いのでしょうか。

それを土台として家を建てるという事です。建物を造るとき、基礎の土への埋め込み深さを専門用語で「根入れ深さ(ねいれふかさ)」と言います。地盤面の高さから、深く掘っていきます。そこを建物の基礎とするわけです。これは現代の建築学でも常識になっていきます。高い建造物を建てる時は、地中の深いところにある固い

基礎の下の端までの距離のことです。「根入れ深さ」で、できるだけ深い方が望ましい。根入れ深さが浅いと、地震や台風などの災害時に、構造物が移動・転倒する恐れがあるから「だ」といわれています。土壌が柔らかい場合は、固い岩のような地盤に達するまで

深く掘っていきま。そこを建物の基礎とするわけです。これは現代の建築学でも常識になっていきます。高い建造物を建てる時は、地中の深いところにある固い土台がいかにか大切かわかりません。高さ何百メートルにもなる高層ビルを作るには、まづ堅固な土台をつくらなければいけません。地下に深い土台を作って、地上の高い高層ビルを支えなければいけないからです。建物を建てる時、土台がいかにか大切かわかりません。

もの、なくなってしまうものを象徴しています。自分の考え、世の中の価値観、お金、名譽、地位などです。このようなものに人生を土台を据える人は愚かだとキリストは言っておられるのです。キリストの教えを聞いて実行する人は、岩の上に自分の家を建てる賢い人に似ているといわれていますが、実はキリストの教えの全ては、旧約聖書39巻と新約聖書27巻のすべてを凝縮したものです。自分を愛する、隣人を愛する、両親を愛するなどの教えは聖書にあります。キリスト教徒でなくても、これらの教えを聞いて実行するならば賢く、そしてそれらを実践して生きる人は幸せな人生を歩むことができるのです。(ロサンゼルスぶどうの木 国際教会牧師)

南加キリスト教教会連合

岩の上に家を建てる

上野 五男